第 202 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 ~~(案)~~

１．日時　2011 年 8 月 1 日(月)　13:30～14:30

２．開催場所　同志社大学　寒梅館　会議室 2C(2 階)
(〒602-8580　京都府京都市上京区今出川通烏丸東入)

３．出席者　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

幹事団

長尾委員長(豊橋技科大)	○	田中(康)幹事(東京都市大)	○	芦辺幹事(住友電工)	×
高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝)	○		

１号委員

岡下委員(昭和電線)	○	岡本委員(富士電機)	×	小林委員(日立製作所)	×
清水委員(東芝)	○	高橋委員(ビスキャス)	×	中坊委員(日新電機)	○
菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	○	藤井委員(日本ｶﾞｲｼ)	×	穂積委員(豊橋技科大)	○
本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	×	渡辺委員(日立電線)	○
野田委員(日本 AE ﾊﾟﾜｰ)	○				

２号委員

池田委員(JX-E)	×	岩本委員(東工大)	×	加藤委員(新潟大)	×
田中(祀)委員(早稲田大)	○	本間委員(電中研)	×		

オブザーバー：大木(早稲田大)

４．提出資料

番号なし	第 201 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案）
DEI-202-1	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-202-2	平成 23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（3 次案）
DEI-202-3	調査専門委員会フォローシート（2011 年度計画）

５．議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 201 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、承認された。

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-202-1 に基づき、委員の所属等について確認を行った。田中委員(早稲田大)の住所番地を 2-2 から 2-7 にする。他に、修正がある場合は、高橋幹事補佐に連絡する。

5-3. 平成 23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の確認（田中幹事）

資料 DEI-202-2 に基づき、平成 23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他

行事予定(3 次案)の確認を行った。

■ 7 月 8 日に新潟で開催の「有機ナノ材料・構造制御，デバイス応用，一般(電気情報通信学会連催)」研究会における発表件数は 13 件で、その内 7 件が電気学会に帰属する発表となる。論文番号は 13 件付くが、発表賞に関わる発表件数は 7 件でカウントされる。
■ 9 月 21，22 日の A 部門大会における誘電・絶縁材料関係セッションの座長を早急に決める必要がある。また、A 部門大会期間における技術委員会の開催はなし(表の＊印を削除する)。
■ 「トリー，トラッキング，絶縁一般」研究会は、秋田大学で 11 月 25 日に開催する。また、メーリングリストを活用して、参加を呼びかける。
■ 「空間電荷・ナノコンポジット」の合同研究会は、12 月 13 日に開催する。
■ 「ポリマーがいし」研究会(高電圧技術委員会と共催)は 12 月に実施する。また、「ポリマーがいし」研究会を、可能であれば IEEE DEIS Japan Chapter の協賛とする。
■ 平成 24 年 3 月の全国大会の開催場所を、広島工大に修正する。

5-4. 調査専門委員会活動状況の確認（田中幹事）

資料 DEI-202-3 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。

■ 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御
- 5 月 19 日に委員会を開催。
- 7 月 8, 9 日に委員会と研究会を開催。

■ 「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する
- 5 月 13 日に委員会を開催。
- 8 月 4 日に次回委員会を開催予定。
- 10 月に「有機分子素子についての日韓シンポジウム」を九州で開催予定。
- 12 月に「バイオエレクトロニクスと有機ナノ技術がもたらす環境保全に関する日印セミナー」を姫路にて開催予定。

■ 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術
- 6 月 9 日に第 5 回委員会を開催。
- 9 月 6 日(ISEIM 2011 の初日)に、第 6 回委員会を開催予定。
- 12 月 13 日に、空間電荷委員会と合同で研究会を開催予定。

■ 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術
- 7 月 8 日に委員会を開催。
- 9 月末に、次回委員会を開催予定。
- 12 月に高電圧技術委員会と共催で研究会を開催予定。

■ PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発
- 6 月 7 日に委員会を開催。
- 12 月 13 日に、ナノコンポジット委員会と合同で研究会を開催予定。

■ 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント
- 委員会の現状欄は、「解散(整理委)」とする。
- 5 月 30 日に幹事会を開催。
- 4 月～10 月に整理委員会として、技術報告書のまとめを行う。
- 9 月 5 日に整理委員会を開催予定。

- 「電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術」と合併して、2012 年 4 月を目標に後継委員会を立ち上げる。当面は、2011 年 11 月/12 月に予定されている A 部門運営委員会で設置の承認を得られるように準備を進める(設置趣意書の作成 等)。

■ 電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術
- 技術報告は 90%程度完成している。
- 「絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント」と合併して、後継委員会を立ち上げる。

■ 高分子材料と放射線の相互作用評価
- 技術報告は未提出。
- 次回までに打開策を検討する(田中幹事)。

■ 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能
- 技術報告は未提出だが、95%完成している。
- 整理委員会は、終了後半年までであるため、整理委員会の記述を削除する。

■ 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面
- 技術報告は未提出(転載許諾が問題)。

■ 繰り返しインパルスにおける部分放電計測
- 2012 年 1 月を目標に後継委員会を立ち上げる。
- 当面は、2011 年 11 月/12 月に予定されている A 部門運営委員会で設置の承認を得られるように準備を進める(設置趣意書の作成 等)。

■ 誘電・絶縁材料技術委員会関連の調査専門委員会について、下記の提案があった。
- 調査専門委員会で扱っている内容を分類することで、不足している分野を見つけ出し、今後、調査専門委員会の設置が必要と思われる分野を把握する必要があるのではないか？
- 全国大会・A 部門大会などでの発表テーマから、当技術委員会でサポートが必要な分野・テーマを見つけ、育成していく必要があるのではないか？
- 新しい調査専門委員会のテーマ発掘は、技術委員会の役割でもある。例えば、新計測法(テラヘルツなど)，生分解性ポリマー，水トリーなどは、調査専門委員会を設置できそうなテーマもある。
- 誘電絶縁材料シンポジウムを活用して、新しい調査専門委員会テーマを発掘していくのも一つの方法である。
- 当技術委員会の課題として、今後も検討を続ける。

６．次回技術委員会の開催

第 203 回 誘電・絶縁材料技術委員会を、12 月 14 日午前に開催する。場所は、日本交通協会(有楽町) 特別会議室とする。

－以上－